

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ウクライナ

日付：6月30日

報告書名：令和6年度 完了報告書（JPF）

令和6年度 JPF 完了報告書

事業名	ウクライナ国内の避難民に対する生活再建支援および食糧・生活必需品配布事業 Livelihood Rehabilitation Assistance and Food/NFI Distribution Project for IDPs in Ukraine
事業対象地	ウクライナ（ポルタヴァ・ザポリージャ）
事業期間	2023年8月17日～2024年9月16日
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム
予算	66,870,049円
実施内容概要	事業地であるポルタヴァ市には、ウクライナ東部・南部からの国内避難民4万～5万人が滞在しているとされる。さらに、より戦線に近いザポリージャ市においても同様に避難民が多く滞在している。長引く避難生活の中で将来への不安や社会的疎外を抱え、食糧や生活必需品の不足が深刻化している避難民に対し、生活再建や社会交流を目的とした講座を開催し、受講者らが生活再建に必要な知識や社会交流のための機会・情報を得ることに貢献した。また避難施設とその周辺に滞在する避難民に食糧・生活必需品を配布し、避難生活の負担を軽減した。
成果の達成度	事業で実施された全講座で目標人数を上回る参加申し込みがあり、ニーズに即した講座を提供した。また、修了後モニタリングでは、受講者162名のうち147名、約91%が「社会交流の機会が増えて、避難生活の不安が軽減した」と答えた。物資配布についても、受け取った避難民のうち、配布後アンケートに答えた221名中207名、約94%が「食糧や生活必需品は、質・量ともに避難生活の負担を軽減することができた」と答えた。食糧・生活必需品配布において、6,644名への配布をすることができた。以上から、当初の計画以上に事業を実施することができた。
学びと提言	受益者選定におけるリスクとその対応についてさらなる改善の余地がある。特に成人講座の受講者は、家事育児に比較的融通を利かせることが可能な層だったのではないかと推測される。講座受講中の子どもの預け先がない、もしくは家事育児に多忙な層に参加を促す環境整備が必要である。各講座における満足度は、講座内での実践時間の有無で変化が見られたことから、実践時間の確保の重要性が明確化した。